

石川工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語表現ⅠⅠⅠ	
科目基礎情報							
科目番号	15630		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年		3		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	Robert Quinn, Sylvia Wheeldon, Tim Falla, Paul A Davies「Get Ahead Level3 Student Book」(Oxford University Press)/自主プリント教材						
担当教員	アンソニー ダガン						
到達目標							
1. 基礎的な語彙を習得する。 2. 基礎的な慣用表現を覚える。 3. 基礎的な文法知識、語法を習得する。 4. 基礎的な英文読解ができる。 5. 基礎的な英文聴解ができる。 6. 基礎的な英作文ができる。 7. 基礎的な英会話ができる。 8. 異文化についての理解を深める。 9. 国際的な視点を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標 項目1, 2, 3	基礎的な語彙、慣用表現、文法を使うことができる。		基礎的な語彙、慣用表現、文法をおおよそ使うことができる。		基礎的な語彙、慣用表現、文法を使うことができない。		
到達目標 項目4, 5, 6, 7	基礎的な英文読解、聴解、英作文、英会話ができる。		基礎的な英文読解、聴解、英作文、英会話がおおよそできる。		基礎的な英文読解、聴解、英作文、英会話ができない。		
到達目標 項目8, 9	異文化についての理解を深め、国際的な視点を持つことができる。		おおよそ異文化についての理解を深め、国際的な視点を持つことができる。		異文化について理解できず、国際的な視点を持つことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
本科教育目標 1 本科教育目標 3							
教育方法等							
概要	本授業では、語彙、集中リスニング、自己表現、構文把握力、発音の技術、速読の技術を身につけ、英語コミュニケーションの基礎学力を養うことを目標とする。また英語理解を通して、国際社会への理解を広げる。						
授業の進め方・方法	英語コミュニケーション力を養い、積極的に英語で自己表現を試みることを。 【事前事後学習など】適宜、課題を課す。長期休業中に自習課題を与える。 【関連科目】総合英語、英語講義Ⅰ						
注意点	応用力養成のため多読多聴図書（図書館蔵）を活用すること。 【評価方法・評価基準】成績の評価基準として50点以上を合格とする。 前期中間試験、前期末試験を実施する。 前期中間試験（30%）、前期末試験（30%）、小テスト・課題（20%）、取り組み状況・発表活動（20%）						
テスト							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction, Unit 1 The look, Simple present and present continuous		授業の概要が理解できる。		
		2週	Unit 1 The look, Simple present and present continuous		外見に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		3週	Unit 2 Characters, Comparative and superlative adjectives		性格に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		4週	Unit 3 Places, Simple past and past continuous, adverbs		場所や生活に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		5週	Unit 4 Being human, Modal verbs		健康に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		6週	Unit 4 & Review Unit 1-4		Unit 1-4の内容を確認することができる。		
		7週	Unit 5 Friends together, Present perfect and simple past		友人に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		8週	Unit 6 Right or wrong?, Past perfect		犯罪に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
	2ndQ	9週	Unit 7 Get to work, so/such, not as ...as		仕事に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		10週	Unit 8 Fragile Earth, will/be going to		環境問題に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		11週	Unit 9 Money, Second conditional		お金に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		12週	Unit 10 On the menu, The passive		食べ物に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		13週	Unit 11 Invention, Relative clauses		発明に関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		14週	Unit 12 Communicate, Reported speech		インターネットに関するトピックで、スピーキングを中心とした言語活動を行うことができる。		
		15週	Review				
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	小テスト・課題	取り組み状況・ 発表活動	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100	
基礎的能力	60	20	20	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	